

### 一般質問(要旨)

#### ●質問者

3月6日(月)

館 静馬 議員  
(いばらき自民党)

外塚 潔 議員  
(いばらき自民党)

上野 高志 議員  
(日本共産党)

3月7日(火)

星田 弘司 議員  
(いばらき自民党)

飯田 智男 議員  
(自民県政クラブ)

田口 伸一 議員  
(いばらき自民党)

3月8日(水)

萩原 勇 議員  
(いばらき自民党)

田村 けい子 議員  
(公明党)

水柿 一俊 議員  
(いばらき自民党)

3月9日(木)

二川 英俊 議員  
(民進党)

下路 健次郎 議員  
(いばらき自民党)

伊沢 勝徳 議員  
(いばらき自民党)



議員 静馬 館  
いばらき自民党  
戸市選出  
分割方式

#### 郷土教育「郷育」の確立

議員 もう一步踏み込んだ郷土学習として、高校生に対して、郷土や偉人を自慢できるような、生徒自身で郷土の誇りに気付くといった新しい視点での「郷育」を行うべきと考えるが、所見は。  
教育長 高校生の時期に郷土教育に取り組むことは、郷土愛の醸成に効果的と考える。平成二十九年からは、郷土茨城の歴史を世界の歴史との関わりから学ぶことができる補助教材を活用するなどして、郷土教育を推進していく。

#### 偕楽園の魅力向上

議員 梅まつりの期間中に園内を夜間開放しライトアップしている「光の散歩道」について、プロジェクトクションマッピング※を毎日行うことなどを提案するが、所見は。  
土木部長 プロジェクトクションマッピングの連日上映などは、誘客効果も見込まれるが、運営方法などの課題もある。課題解決に向けた検討を行いながら、来園者が満足するようなプロジェクトクションマッピングの実施に努めていく。  
(ほかに、世界湖沼会議の開催、国道一二三号の整備なども質問)



偕楽園「光の散歩道」の様子



議員 外塚 潔  
いばらき自民党  
かすみがうら市選出  
一括方式

#### 地域間連携のための道路整備の展望

議員 地域間の連携を図ることが地域を持続的に発展させていく上で欠かせないが、地域の核となるインフラを結びつける道路網の強化が喫緊の課題である。今後どう取り組んでいくのか。  
知事 地域間の連携強化に資する幹線道路の整備は重要であり、かすみがうら市周辺地域では、国、県の役割分担の下、整備を進めている。新設道路についても、できるだけ速やかに事業化できるように最大限の支援を行っていく。

#### 霞ヶ浦へのリゾート施設の誘致

議員 IR推進法の施行を契機に、本県においても霞ヶ浦湖岸に一千万人の集客を目指す統合型リゾート施設の誘致を検討すべきである。今後どう取り組んでいくのか。  
企画部長 統合型リゾート施設の整備については、地域経済の活性化などの効果が期待されるが、治安などへの悪影響も懸念される。国の動向を見極めるとともに、経済効果や課題などを勉強していく。  
(ほかに、常磐線沿線地域の活性化、つくば霞ヶ浦りんりんロードなども質問)



統合型リゾートの誘致の検討を



議員 高志 上野  
共産党  
本市選出  
一括方式

#### 東海第二原発の廃炉

議員 国がいくら安全と言おうと事故が起こることを前提にしている以上、県民の命と財産は守れない。「原発のない茨城の将来像」を描くべきであり、再稼働には不同意であると決断をすべきと考えるが、所見は。  
知事 国が再稼働に関する方針をはっきりさせていないなど、今の段階では、再稼働については判断すべき材料が揃っていないとは考えていないため、態度の表明はしていない。

#### 公的医療機関の役割と地域医療の課題

議員 県民の要望の第三位は医療体制の充実だが、本県の周産期医療や小児夜間救急などの地域医療体制は深刻な状況である。公的医療機関の果たす役割と地域医療の課題への支援について、所見を。  
知事 小児夜間救急などは広域連携により対応するが、こうした背景には医師不足などの地域医療の課題があり、特に小児科では顕著である。今後とも地域医療の充実に向け全力で取り組んでいく。  
(ほかに、子どもの医療費無料化、農業の振興なども質問)



地域医療を担う公的医療機関



議員 星田 弘司  
いばらき自民党  
つくば市選出  
分割方式

#### 通学路の安全対策

議員 通学路の安全対策のため、ゾーン30※の整備計画における実績と効果を検証し、継続的に実施していくべきと考えるが、今後どのように取り組んでいくのか。  
警察本部長 ゾーン30の整備については、六十二カ所を整備し、事故が減少するなどの効果が認められたことから、通学路を中心に新規整備を進める。併せて国の交付金を活用した信号機新設のための予算の増額などの対策を行い、通学路の安全を確保していく。



新規整備が望まれるゾーン30

#### がん教育の推進

議員 がん検診推進条例施行を受けて、保護者への普及啓発などを含めたがん教育の推進を今後どのように進めていくのか。  
教育長 本県独自の啓発教材を活用し、教員の指導の充実を図るほか、がん教育のモデル授業発表会やがん教育講演会を開催する。また、保護者に対しても、児童を介した検診などに関するリーフレットの配布などにより、がん教育を進めていく。  
(ほかに、MICEの誘致、筑波高校の取り組みなども質問)

#### 福島・茨城・栃木・群馬・新潟五県議会議長会が開催されました

二月二日から三日にかけて、福島県福島市において、福島・茨城・栃木・群馬・新潟五県議会議長会が開催され、藤島正孝議長と森田悦男副議長が出席しました。  
初日の会議では、「広域連携による観光誘客の促進について」をテーマとして協議が行われ、観光庁観光地域振興課長から観光に関する最近の話題についての講演が行われた後、各県の取組状況などについて、意見交換を行いました。意見交換では、藤島議長が北関東三県で取り組んでいる観光プロモーションやベトナムに開設したアンテナショップを活用した取り組みなどについて、森田副議長が茨城空港や圏央道を活用した誘客などについて意見を述べた。また、翌日は震災後の環境の回復・創造に取り組むための調査研究および情報発信、教育などを行う総合的な拠点施設である福島県環境創造センターを視察し、復興に向けた取り組みなどの説明を受けました。



会議に参加する藤島正孝議長(左から1人目)と森田悦男副議長(左から2人目)

ことば ※【プロジェクトクションマッピング】…建物などに、プロジェクターでCGや映像を投影する技法・パフォーマンス。  
※【ゾーン30】…生活道路の安全を確保するため、一定のゾーン内の道路を最高速度30km/hの規制をするほか、路面標示を整備して、通過交通や速度の抑制を図ること。